

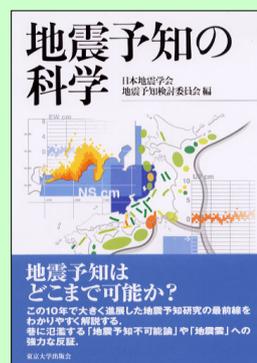
＝5月18日発売＝

日本地震学会地震予知検討委員会 編
地震予知の科学

四六判・240頁／税込 **2100** 円(本体 2000 円) ISBN978-4-13-063706-0

～地震予知の最先端がわかる決定版～

世間では「地震予知などできるわけがない」という批判がある一方で、非科学的な「地震雲」などの地震予知がマスコミに好んで取り上げられる。しかし、地震予知研究は最近の10年間で実に多くの成果を出しているのだ。最も科学的、かつ最先端の成果をわかりやすく解説した決定版。



〈主要目次〉

- 1 地震の発生をあらかじめ知るとはなぜ人は雲を見ると地震を予知したくなるのか
地震予知とは何か
長期予知と場所・規模の予知
- 2 これまで何が行われてきたか
日本の地震予知研究の歴史
過去の例、海外での例
- 3 この10年で何が明らかになってきたのか
「ぺったり」と「ずるずる」地震を起こす場所はどこら?—アスペリティの発見
地震を起こさないゆっくりすべり
コンピュータの中で地震を起こす
—シミュレーション
研究の進歩を支えた種々の観測網
プレート境界型地震の中期予知の実現に向けて
- 4 地震を予知することの今
東海地域で何が行われているのか
東海地域で出てきたゆっくりすべり
東海地域の予知ができるとは—科学から社会へ
緊急地震速報という試み
—科学を防災に用いるということ①
津波予報、その世界に冠たる技術
—科学を防災に用いるということ②
- 5 地震予知のこれから
地震予知のこれから
地震予知の新兵器
海外での新しい地震予知研究の流れ
地震予知と社会
再び地震予知とは?